東陽の旋風（かぜ） ～自立貢献～

令和５年１月１３日（金）No ３４発行
文責：松本　卓也

年中夢求　～「やりたいこと」に挑戦する年に～

第 101 回全国高校サッカー選手権大会で 3 位となった大津高校サッカー部。TV の前で応援した方も多いと思います。前回大会では準優勝と、地方の公立高校を全国屈指の強豪校に育て上げた平岡和徳総監督（宇城市教育長）は、著書【年中夢求「夢を叶える力」「よりよく生きる力」の育て方】の中で「夢を持つことが子どもたちの心の成長、人間的な成長につながり、自分の人生をより豊かにし、よりよく生て自己の上でとても大きな意味を持ちます。子ども達 1 人 1 人が夢の実現に向かって自己を鍛え、心を磨き、精一杯生き抜く力となるよう、『年中夢求』という言葉を使って、その大切さを伝えてきました。」と述べています。

10 日（火）の始業式では、各学年の代表生徒が頑張りたいことを次のように述べてくれました。

「2 年生になる準備期間。初志貫徹の言葉のように、決めたことを最後までやり抜きたい。（1 年）」
「家庭学習を充実させる。東陽中のリーダーとなる自覚をもって行動したい。（2 年）」
「1 日も無駄にせず、学習等に精一杯頑張っていきたい。仲間と過ごす時間を大切にしたい。（3 年）」
「1･2 年生が中心になります。活気あふれる東陽中を皆さんと一緒に創っていきたい。（執行部）」

私からは、年末年始に開催されたさまざまな大会での県勢の活躍の中から、箱根駅伝 1 区を走った育英大の新田選手や鎮西高校男子バレーボール部の舛本選手の大会への思いと、大津高校サッカー部平岡総監督が掲げる「年中夢求」のビジョンをもとに、**「2023 年を、子どもたち自身が夢中になって取り組めることを見つけ、どんどん挑戦する年にしてほしい」**と伝えました。複雑で予測困難な時代だからこそ、変化を前向きに受け止め、新しい未来の姿を構想し実現していくことや、自分の夢や仲間との目標に向かって、大きくたくましく成長していこう。“「言われたから」「自主的にやる」、そして「夢中になる」へ！”私たち職員も力を合わせ、子どもたち一人一人の挑戦や、仲間との育ち合いを導き支えていきます。

当たり前のことをやり抜く　～実力考査～

10 日（火）・11 日（水）、実力考査を行いました。休み中も計画的に取り組んでくれたと思います。上記の平岡総監督は、当たり前のことを人並み以上にやり抜く、「凡事徹底」の理念を掲げています。メジャーリーガーのイチロー氏も、「高校生活の 3 年間、1 日にたった 10 分が、寝る前に必ず素振りをしました。その 10 分の素振りを 1 年 365 日、3 年間続けました。これが誰よりもやった練習です。」と語っています。気分が乗らない日でも、日々のルーマを積み重ねが実力のとながります。結果も大事ですが、取り組む過程をぜひ振り返ってください。

大健闘！！　～八代中学生マラソン大会～

12 月 24 日（土）、球磨川河川敷スポーツ公園において「第 15 回八代中学生マラソン大会」が開催されました。本校からは、9 名の生徒が参加し、中学 1 年男子の部で M さんが 3 位、中学女子の部で 3 年生 O さんが 8 位、上位 3 名の記録で争う男子団体の部でも 3 位の好成績を収めました。朝ランニングを始めとした日頃の努力が実りました。おめでとうございます。なお、M さんは、2 月 12 日（日）に開催される第 49 回郡市対抗熊日駅伝（男子）八代市代表チームにも候補選手として選ばれました。さらなる健闘を期待します。

【編集後記】明けましておめでとうございます

▼明けましておめでとうございます。各ご家庭でおだやかにお正月を過ごされたことと思います。▼私も熊本市や上天草市の実家に帰省し、家族や親戚と互いの近況を語り合う中で、甥や姪がそれぞれ未来への具体的な展望を描いていることに成長を感じました。私自身も夢や希望を語り、それを叶えられる努力をしていきたいと決意を新たにしたところです。▼令和 5 年（2023 年）を干支である「うさぎ」のように、子どもたちがさまざまな面で更に飛躍する年になりますよう、職員一同努めてまいります。今年も、東陽中学校の教育活動に対しましてご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（　　）